

平成 30 年 3 月 31 日

株式会社 SOUFA 御中

SOUFA (16%) 処理の耐アメリカカンザイシロアリ性能試験結果報告書

〒611-0011 宇治市五ヶ庄
京都大学生存圏研究所
居住圏環境共生分野
教授 吉村 剛



首記の件につき、下記の通り報告いたします。

1. 試験対象物

依頼者（アベ・ホーム株式会社）より提供された SOUFA(16%)

2. 試験対象物の成分

ポリホウ酸

3. 試験項目

アメリカカンザイシロアリに対する室内防ぎ（蟻）性能試験（表面処理）

4. 試験方法

試験には、JIS K 1571：2010 に規定する防蟻試験用表面処理試験体を用いた。すなわち、10 x 10 x 20 mm(L)の大きさのスギ辺材試験体に 110 g/m²の処理量で塗布処理を行い、風乾させた試験体である。

アメリカカンザイシロアリに対する防蟻性能試験は、試験体のサイズおよび処理の方法が異なる以外は、(公社)日本木材保存協会規格「注入処理用木材保存剤の乾材シロアリに対する性能基準及びその試験方法」(JWPAS-DTW-R) (2013) に準拠して実施した。すなわち、100 ml 容プラスチック製ビーカーの底部に厚さ 3 mm のプラスチックメッシュを入れ、その上に試験体を 1 個セットし、京都大学生存圏研究所・居住圏劣化生物飼育棟 (DOL) で保管中の食害材より取り出したアメリカカンザイシロアリ擬職蟻 20 頭を投入し、プラスチックシートで覆った後、容器に入れてアメリカカンザイシロアリ飼育室で 6 週間保管した。試験期間終了後、ノミを用いて試験体を切断し、全てのシロアリを取り出して死虫率を算出するとともに、試験前後の試験体の質量減少量を測定した。なお、仰向けに転倒し、脚が微動しているものの復帰できない個体については死亡個体としてカウントした。なお、試験の繰返し数は 5 個（無処理は 3 個）である。写真 1 に試験の様子を示す。



写真1 耐アメリカカンザイシロアリ性能試験の様子

5. 試験結果

下表に結果を示す。

試験薬剤名：SOUFA(16%) 溶媒又は希釈剤名：蒸留水

指定濃度：(質量分率%) 16%

試験期間：2018年1月14日～2月25日

試験体	試料処理量 g/m ²	死虫率(%)		質量減少率(%)		特記事項
		平均	最小-最大	平均	最小-最大	
処理試験体	115	54.0	50 - 60	1.3	0.6 - 2.7	内部への完全な穿孔はなし。
無処理試験体	—	18.3	10 - 30	15.2	14.5 - 16.1	内部への穿孔と食害

SOUFA(16%)による表面処理は、平均 1.3%の質量減少率を与え、これは無処理試験体の10分の1以下の値であった。現在、アメリカカンザイシロアリに対する表面処理の予防効果に関する公定法はなく、したがって性能基準も定められていないが、(公社)日本木材保存協会規格「注入処理用木材保存剤の乾材シロアリに対する性能基準及びその試験方法」に規定された3%以下という性能基準を準用するとすれば、SOUFA(16%)による表面処理は合格していることになる。

以上